

京都精神保健福祉士協会

きょうと通信

No.81



2010 年 9 月発行

事務局：医療法人栄仁会 宇治おうばく病院内

〒611-0011 宇治市五ヶ庄三番割 32-1

TEL 0774-32-8399 (直)

FAX 0774-32-8399 (直)

e-mail office@kyo-psw.org

HP <http://www.kyo-psw.org/>

【10 月例会ご案内】

テーマ：福祉と労働の統合をめざした新たな就労システム (仮)

講師：高橋 信二氏 (社団法人 滋賀県社会就労事業振興センター センター長)

日時：2010 年 10 月 22 日 (金) 19:00～21:00 (受付 18:30～)

会場：ハートピア京都 4 階 第 5 会議室 (烏丸通竹屋町東角)
地下鉄「丸太町」駅・市バス「烏丸丸太町」徒歩すぐ

(社) 滋賀県社会就労事業振興センターは、滋賀県内にある障害者が働く事業所の製品の開発、販路の拡大支援を行い、事業の活性を促すことで、そこで働く障害者の就労を支援し、自立に寄与することを目的として 1998 年に設立されました。

高橋氏は、同センターを開設される以前、「長浜障害者労働自立センター」という無認可の作業所をはじめ、精神障害者通所授産施設「友愛ハウス」の整備など、精神障害者に関する分野でもご活躍されていました。

10 月例会では、高橋氏より同センターが設立されるに至った経緯なども含め、滋賀県での取り組みをお話いただき、私たち京都の今後の活動や経営の活性への足がかりのひとつとなればと思います。

「就労支援」「中小企業との連携」「事業所のネットワーク」など、施設の運営についての参考にもしていただけたと思います。施設で働く皆さまをはじめ、多くの参加をお待ちしています。

【障害者自立支援法委員会よりお知らせ】

障害者自立支援法委員会では去る 7 月 21 日に「障がい者総合福祉サービス法 (仮)」についての要望書を当協会を含む関係 5 団体の連名で、民主党本部・支部などに送付をいたしました。この件で、9 月 17 日には京都府と、同月 30 日には京都市との懇談を設け、関係団体と出席し意見交換をさせていただく予定になっています。(9 月 15 日現在) 詳細については追ってご報告いたします。

【2010 年度初任者研修に関するお知らせ】

～今年度は「基幹研修Ⅰ」の開催はありません～

今年度の初任者研修は、12月4日、5日の2日間の日程での開催となります。対象者の方には追ってご案内させていただきます。認定精神保健福祉士（日本精神保健福祉士協会認定）へのワンステップである「基幹研修Ⅰ」を含めた3日間コースについては、隔年開催となりますので、次回は2011年度の予定です。

なお、今年度の「基幹研修Ⅰ」の受講については、下記までご相談ください。（京都協会会員（日本協会非構成員）の受講については、各主催者への確認が必要となります。）

構成員の方→日本精神保健福祉士協会 本部事務局 TEL：03-5366-3152

日本精神保健福祉士協会 京都府支部事務局 FAX：075-353-2165

E-Mail：japsw-kyoto@e-mail.jp

非構成員の方→当協会支部担当役員 上田正人 E-Mail：mas-ueda@d6.dion.ne.jp

【リレー職場紹介】

独立型社会福祉士事務所「ナマステ」

NPO ナースネット研究会事務局

天岡憲子さん

職種は看護師として病院勤務でした。大学病院でしたから外科、内科、整形外科等色々な科で働きました。しかし、「看護の原点は精神科にある。」と関心を持ち、看護師生活の半分は精神科でした。

精神科病棟での事です。退院した患者さんが何度も再入院を繰り返します。「いったい、地域はどうなっているんだろう？福祉はどう動いているのだろうか？」と疑問を持ち、社会福祉士と精神保健福祉士の資格を取得しました。

そして、55歳の時、定年にはまだ時間がありましたが、病院を退職しました。「60歳からの仕事を自ら探す」為でした。二つの仕事をみつけました。どちらもあまりお金にはなりませんが、楽しいです。

ひとつは、独立型社会福祉士としての成年後見人です。現在、17人の方々の法定後見人、保佐人、補助人をしています。任意後見は契約のみが一人います。認知症の方が圧倒的に多いですが、知的障がい、精神障がいの方々もおられます。仕事は通帳を預かり、施設利用料や入院費を支払ったり、在宅に生活費を届けたりする財産管理と、毎月訪問して面会をしたり、さまざまな契約や解約を本人に代わって行う身上監護です。辞任の経験もあります。統合失調症の若い方でした。「天岡さんは私の嫌いな叔母にそっくりなので嫌だ。」との事。そんなこと言われても…と少し頑張りましたが、ダメでした。仲間の若い後見人にバトンタッチをしました。精神障がいの方々の支援は難しいです。PSWの後見人の出現が待たれます。

もう一つは、社会福祉士の資格をもつ看護師仲間で立ち上げた NPO ナースネット研究会です。現在、事務所は「ひと・まち交流館 京都」の中にあり、毎月講座を開いています。ヘルパーの方々を対象に医療的ケアの研修です。呼吸器や消化器の解剖を学び、痰吸引や胃瘻・経管

栄養注入の手技を、人形（子どもサイズ）を使って実技研修して頂いています。一方で有償ボランティアナースとして、在宅に伺い吸引や胃瘻注入などを行っています。先日は、精神病院入院中の患者さんの他科受診を付き添いました。

55歳で退職して充電期間にデンマークの福祉研修に参加したり、ネパールの精神障害者デイケア設立の支援に参画するなど楽しいことをいっぱい経験して「現在がある」と思っています。そして、現在の経験がきっと未来に繋がっていくと信じて毎日活動しています。



【2010年度第3回役員会 概要報告】

日時) 2010年8月7日(土) 14:00~18:50 場所) まるいクリニック会議室
出席) 上田、大塚、岡島、小野、亀海、木下、下村、知名、西村、畚野、松田、物、吉田、渡邊
欠席) 梅崎 熊取谷 斉藤 前田 日置(事務局)
議長) 大塚 書記) 物

■ 対外関係 前回役員会(6月9日)以降

○京都精神保健福祉施設協議会総会 6月13日(日) キャンパスプラザ京都(出席 物)

○京都精神保健福祉協会総会・理事会 6月17日(木) (出席 西村会長)

○ソーシャルワーカーデイ 2010 シンポジウム

日時) 7月19日(祝) 15:00~17:00 会場) 同志社大学 新町キャンパス「尋真館」

テーマ) ソーシャルワーカーの仕事術 ~社会福祉専門職として働くということ~

対 象) ソーシャルワーカーをめざす人

共催) 京都社会福祉士会・京都医療ソーシャルワーカー協会・日本社会福祉士養成校協会

近畿ブロック・日本社会福祉教育学校連盟近畿ブロック支部・当協会

シンポジスト) 京都社会福祉士会: 寺田玲さん(京都市北区社会福祉協議会)

京都医療ソーシャルワーカー協会: 上妻秀樹さん(吉祥院病院)

京都精神保健福祉協会: 野本千春さん(ウエノ診療所ほか)

○きょうと介護・福祉ジョブネット 職場定着WG(担当 亀海)

日時) 7月7日(水) 15:00 ~16:30 会場) ハートピア京都

今年度人材定着WGで取り組むテーマについて検討が行われた。

日時) 8月2日(月) 15:00 ~16:30 会場) ハートピア京都

前回の検討の結果以下のテーマで進めていくことになった。

・女性職員が働きやすい職場づくりのための制度活用促進・短時間正社員制度の導入支援

- ・事業所内保育所の設置運営支援・障害施設における人材育成プログラムの開発
- 京都市ソフトバレーボール大会後援依頼 を承認した。
- 医療観察法「参与員」推薦（依頼者京都府）についてメール配信による情報提供実施
- DARC フォーラム後援依頼 を承認した

■各部から

□研修部

- 第2回会議 7月29日（木）19:00～20:30 京都センチュリーホテル 喫茶ラウンジ
新委員 今井利華さん（きょうと WAKUWAKU 座）

○例会

報告）7月例会 7月10日（土）アスニー山科にて実施、参加者11名

- 中堅の参加者がなくグループとしてはどうか。少ない参加者だったのでグループにはならず全員で講師を囲んでの話でもよかったのではないかと。参加者が少ないのは講師にも失礼、ほか意見があがった。
- 今後は、会場設定や構成、広報に至るまで、工夫が必要。

予定）9月医療観察法学習会担当、例会直前にメール本文に案内記載し配信する。

10月・2月研修部担当だがテーマ未定、総会で呼び掛けたが反応がなく研修部ですすめる。

- 持ちこみ企画は、企画案のフォーマットを作成して呼びかけるということだった、早くに実行するようにとの意見があがった。
- ミニ学会は準備がたいへんということだが、研修のあり方委員会での方針としてあげていることもある、テーマを決めての発表とか、工夫してみてもどうか。

○初任者研修

12月4日、5日の2日間で開催する。案内文（案）を作成しているが、基幹研修Ⅰを共催にて実施することになれば内容を変更する。

昨年度の振りかえりから、開催理由に基づく受講条件や修了証発行などについてつめること、申し込み受付や、テキスト所持の確認を行うことなどがあがった。

○滋賀県との共催による基幹研修Ⅰの実施について

近畿ブロックでの開催が大阪のみとなったため、滋賀協会が開催をし、メリットの多い共催について当協会に打診があった。当日のスタッフ派遣と場合によって講師派遣が当協会の負担となるようで、この程度の負担なら可能と研修部は考えており、共催にて受託する場合の課題について検討した。

- ・京都府支部構成員のニーズの有無 → 有
- ・初任者研修の日程が決定しているため、基幹研修Ⅰは別枠と考えている。
→ 初任者研修の充実をはかるということで基幹研修Ⅰの受託を決定したので、別枠では趣旨とずれ開催の意味がない。開催日が離れる年度もあり、初任者研修3日目として位置付けるべきだ。
- ・総会で隔年開催と提案し、事業計画にあげておらず予算化もしていない。
→ 隔年開催は研修部の負担が大きいという理由による。共催であれば負担は軽減され、初任者研修の充実、学ぶ機会の提供、共催にいては支部も希望しており、開催する意味がある。
- ・京都協会独自の受講費やテキスト代の設定について、滋賀と格差が生じないか。
→ 京都協会は前年度と同様にしなければ協会内で格差が生じる。滋賀と相談が必要。日本協会入会促進費を活用するなど検討していく。

- ・事務局の負担 →作業は大きくかわらないので引き受けるが、申し込み先、その事務
に工夫が必要になる。
- ⇒ 滋賀協会と課題について相談、研修部でさらに検討し、意向を固める。

□通信情報部

- 通信 「80号」発行準備中 →添付資料が多く配信方法を工夫することになった。
第1回委員会 7月29日(木)(於:シアトルズベストコーヒー)
委員の顔合わせ、新委員への説明、担当号決めを行う。
84号(1月発行予定)の掲載予定内容が少なく発行の検討をした。それ以降の号の影響、総会開催日の案内時期などを含めて部で改めて検討する。
- HP 第1回委員会時に確認した事柄に基づいた作業の報告と課題の意見交換
 - ・不具合修正の報告・「掲示板」の設置と運用について・「委員会報告」活用などの確認他
 - ・リンクは会員の所属機関HPの他に関連機関、団体のHPとリンクさせる予定で検討→ 関連機関などは日本協会HPが参考になるのではないかと意見あり。

□権利擁護委員会

- 委員会 日時 7月27日(火) 場所 つばき医院 参加者 3名
例会内容について詰めていく作業を始める。総会アンケートに期待する内容があり応えたいが、委員会担当の例会参加者が少なく、どう工夫するか悩ましい。

□障害者自立支援法委員会

- 「定藤記念福祉研究会セミナー」参加 (11月例会準備の一環)
日時)7月4日(日)13~17時 場所)西宮市役所
テーマ)“「障がい者制度改革」は今・・・～ 地域自立生活は確立できるのか～”
内容) 北野 誠一さんによる「障がい者制度改革推進会議(内閣府)の現状」
各参加者から「地域自立生活と地域生活移行の課題と展開について」
- 第1回学習会 7月24日(土)17:30~20:00 場所 ジョイント・ほっと
内容)11月例会準備、委員が参加した研修会の報告、例会テーマや役割分担について話し合った。障害者の権利という立場から総合福祉法を再考する大切さについて話題になり、第2回学習会で日本P協作成の“こころのユニバーサルデザインブック『精神障害のある人への生活支援と障害者の権利条約』”をテキストに学びを深め、例会テーマへつなぐこととなった。
- 11月例会 日時 11月11日(木)18:00~21:30 会場 ハートピア京都 第5会議室

□実習検討委員会

- 委員会 日時)7月16日(金) 19:00 場所) 安東医院
内容) 新カリキュラムの実習に関する規程を再確認をしていくなかで、本決定ではない内容や追記があり、そこにまずは委員が追いつくこと、その情報を会員に流していくことの必要性を確認した。実習について各機関の考え方があると思うが、実習に関する情報の共有と、受け入れ機関としての疑問や悩みを話せる機会を設けることから始めていくこととした。
- 企画第一弾 勉強会開催
日時) 9月22日(水) 場所)安東医院 内容)その時点での情報を共有する

□倫理について考える委員会

○委員会 日時) 6月30日(水) / 7月29日(木) 場所) 高木神経科医院

内容) 事例検討

○冊子 第3章の書き直し原稿について、意見や質問についてやりとりをもった。原稿は承認され、訂正箇所については担当に任された。発行に向けて作業していく。

□医療観察法学習会

集まり) 6月14日(月)19:30 / 7月15日(木)19:30 場所) 高木神経科医院 会議室

内容) 9月例会に向けての準備・打ち合わせ

□京都府支部担当

○提案事項について検討し、承認された。

- ・支部と京都協会の情報交換の内容を高めたい：支部担当が情報をピックアップし、各々の事務局へ送り、各々の事務局から会員へ配信する。
- ・京都府支部主幹の研修会開催：沖縄大会で問われた課題、ソーシャルワーカーが成年後見人を担うことの問題について咀嚼できるようお話いただき、ソーシャルワークについて考える機会をもつ。京都協会が協力し共催で開催する。窓口は上田支部担当役員、運営は運営委員会形式とし、例会とは別枠で実施する。

□協会設立10周年記念誌編集委員会

7月31日(土)に実施された委員会から提案された「内容と構成」を検討した。

例会「先輩の実践から学ぶ」は今年で4年目、はじまりは、数年前に実施した亡くなられた大先輩のお二方の実践から学ぶという企画からである。スピーカーは同時期にともに活動されていた方々にお話し、お二方のことだけでなくその時代背景やスピーカーご自身の思いも含めて話していただき、「つないできたもの・つないでいくもの」という思いを強くしたことにある。2007年度から今年度まで5名の先輩を迎えてお話をうかがっているが、京都のPSWの歴史は、ひとりひとりのPSWの実践と多くのつながりが、いろいろなレベルで積み重なり紡がれてきている。世代が変わっていく中で、これを記していこう、財産として残してさらにつないでいこうということが、10周年記念誌の発行企画へとつながった。今回初めて、内容と構成が提案されたが、発行の経緯を受けてのものであってほしい。「祝辞」とあるが祝辞を頂戴する冊子にするのか、祝辞よりも謝辞が適切ではないか。「10周年に寄せて」の寄稿依頼予定者には退会者の名前もあり、どういった基準で人選しているのか。「京都精神保健福祉士協会のあゆみ」では、昨年の9月例会の成果が生かされるべきではないか、といった意見があがった。

□事務局

○前回役員会以降(6月9日)の入会承認者6名、退会承認者1名

入会審査実施、1名を入会承認し、8月7日現在会員数 334名

■ 総会および記念考講演会振りかえり

○ 総会の運営およびタイムスケジュールと役割分担

概ね問題なく終わられた。委任状の個人委任の扱いや全体数の把握に困ったこと、役員の挙手についての確認などが話題になった。会場は飲食禁止が不便、アクセスがよくないなどの意見があがった。活動紹介は大切な機会となった。専門委員会ができた経緯を知りた

いとの声もあったとのこと、来年作成するかは来年決めることとした。

○宿題 → 詳細は下記の報告を参照ください

- ・懲戒処分規則フローチャートがわかりにくいとの意見について、三役で検討提案、承認され会員には通信で報告することとした。

- ・総会での意見交換会（ソーシャルワーカーデー）を受けて

海の日に設定した理由について日Pの担当者に問合せ得た情報も踏まえ、三役会では、

①こういう事実があることを会員に今後も伝えていくこと、

②伝え方は議案書に意見のページを設け、意見の内容を掲載するなど

③外部に対しては、働きかけを考えてはいない といったことを話し合い提案した。

意見：会員に何を伝えていくのか、価値観の違いの問題ではないか。海の日を強調するのではなく、ソーシャルワーカーデーがあることを本の紹介をしているコーナーに記すのはどうか。主張されるソーシャルアクションにはついていけない。決められた日がそうだからいいと考えることがおかしい、こんな変な日だと確実に伝えることまではしないといけない。祝日「海の日」決定までは国会でも議論があったようだが、私たちは決定されたことしか知らない。

⇒ 総会議案書に、ソーシャルワーカーデーをとということではなく、意見交換会で話し合ったことを掲載する。今までに意見交換したものについても同様に掲載し伝えていく。

■ アンケートの返信を受けて

○通信、メール配信、例会についての返信が多く、検討した。

- ・添付ファイルに辿りつくまでの作業がやっかいなことがわかった。
- ・配信メールの本文が不十分なので改善していきたい。
- ・メールが届いていないと意見があるか、戻ってくるものについてはご本人に連絡している。
- ・受信側の不具合の問題もある。フリーメールや、何らかの事情でメールを拒否するなど、受信側でもサーバーに問合せるなどしてほしい。
- ・会費に対応するよう通信の発行をペーパーでと希望する声もあるが、情報や、学習の機会を得るだけが協会の目的ではないので、応えられない。
- ・通信を読んでいない人も多く、ショックである。届いていない、開くまでの作業がめんどろ、文字が多い、読みづらいなどの理由があるよう。改善できるか？
- ・HPの充実と通信発行の兼ね合いは当初からの検討課題。HPは会員ページの充実をはかるツールを準備中とのこと、使い方の方の工夫によってさまざまな可能性があるので、検討していく。

⇒ 次回役員会で、HP委員会より提案をうけることとする

- ・例会に参加すると、今も通信の感想文を依頼されると思っている人がいるので訂正必要。
- ・例会、参加者が少ない。

内容について否定的な意見もあるが、参加されている方の反応は良い。

⇒ 時間帯や、会場の交通至便さ、なども検討の必要がある。通信での案内文がよびかけになるので、十分に推敲を重ねる必要がある。

参加していただけるよう、できるだけのことをしていく。

記念講演会でできたいテーマに、例会で取り上げることができるものもあるので検討。

次回の三役会 9月13日

次回の役員会 10月16日

【役員会からのご報告】

～総会での宿題について～

○ 懲戒処分フローチャート

理解しにくいとご質問をいただいたフローチャートについて、日本精神保健福祉士協会「構成員」である場合は、処分検討の道筋が異なることがわかりやすいようにしました。添付資料「懲戒処分フローチャート 2010 年 8 月作成版」をご確認くださいませよう願います。

○ ソーシャルワーカーデーに関する投げかけについて

前号「きょうと通信」（第 80 号）でお知らせしました、総会での意見交換会の資料および議論の内容について、総会議案書に掲載するなどして今後も会員に伝えていくことになりました。外部団体に対する働きかけについては、現在のところ考えておりません。

さらに、9 月上旬「ソーシャルケア従事者研究協議会」の構成団体である日本精神保健福祉士協会事務局より、前号を読んで「こういった声があることを知らせたいので、ソーシャルケア従事者研究協議会の全体会に資料として配布したい」との打診を受け、三役会で検討し承諾いたしました。あわせてご報告をさせていただきます。

なお、「きょうと通信」は、毎号、日本精神保健福祉士協会事務局および近畿 5 団体に送付しています。

【事務局からのお知らせ】

会員の動向

〔会員数〕平成 22 年 9 月 15 日現在 338 名

〔入会〕

都竹 桃子さん（所属）社会福祉法人青谷学園 授産施設

〒610-0113 京都府城陽市中芦原 20 番地

Tel・Fax 0774-55-8800

菊池 彰倫さん（所属）社会福祉法人信和福祉会地域活動支援センター圭

立命館大学先端総合学術研究科

〒621-0023 京都府亀岡市篠町馬堀南垣内 41-23

Tel0771-25-8623 Fax0771-25-8623

〔所属変更〕

大槻 秀憲さん（新所属）特定医療法人福知会 もみじヶ丘病院 医療相談室

〒620-0879 京都府福知山市茨城 3374 番地

Tel0773-22-2288 Fax0773-22-0175

賀来 祥子さん（新所属）大阪市立大学医学部付属病院

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町 1 丁目 5 番 7 号

Tel06-6645-2896 Fax06-6636-3539

堀江久美子さん（新所属）舞鶴市役所福祉部 介護保険課
〒625-8555 京都府舞鶴市字北吸 1044 番地
Tel0773-66-1054 Fax0773-62-7957

松本真紀子さん（新所属）医療法人明和会 琵琶湖病院
〒520-0113 滋賀県大津市坂本 1 丁目 8-5
Tel077-578-2023 Fax077-579-5487

渡邊 明子さん（新所属）障害者地域生活支援センター もみの木
〒627-0005 京丹後市峰山町新町 2015-2
Tel0772-69-5059 Fax0772-62-3059

[氏名変更]

常塚さやかさん（旧姓：野呂）

事務局からのお願い

発行が遅れておりましたが、この度 2010 年度会員名簿を送付させていただきました。記載内容に変更や間違い等がありましたら、事務局へ変更届等にて取り急ぎお知らせください（Fax 0774-32-8399）。変更届は名簿の最終ページに添付されています。

ほっとひと息コーナー

みなさん、「道の駅」行かれたことがありますか？～

最近、週末になると楽しみにしていることがあります。
それは.....、『道の駅スタンプラリー』。

「なにそれ...」と思われた方や、もしかしたら「やってる！」という方もいらっしゃるかもしれません。

このスタンプラリー、近畿にある道の駅 106 ヶ所を 3 年かけてドライブしてまわるという企画。

“スタンプラリー”と“ドライブ”、両方とも好きな私にとってはワクワクする企画で、完走賞を目指して楽しんでいます！



道の駅は、“ドライブの休憩場所”というだけではなく、“地域の情報発信機能”も兼ねていて、その地域の特産品や農家からの直売野菜・工芸品などが販売され、ちょっと立ち寄るだけでも旅行気分を味わえます。個性的なご当地ゆるキャラに出会えることも...♪

また、もうひとつの機能として、災害時の防災拠点としても整備が進んでいるようで、災害時のライフライン確保を考えた「道の駅」も誕生しているそうです。



ちなみに、京都には13ヶ所あります！
どこか車でお出かけの際、「道の駅」の標識を見つけたら、ぜひ立ち寄ってみてください。
きっと、ご当地各々の“あったかい空気とパワー”を感じることができるでしょう！

(NPO 法人プラッツ おーふんせさみ 堀 千春)

【編集後記】

秋の味覚が今年は不作だそうです、それでも旬の物が食べたい季節になりました。(永田絢美)

朝晩めっきり涼しくなりましたね。虫の声も秋らしく、季節の変わり目を感じます。(堀千春)